

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長	瀬戸 智	生徒指導主事	新田 祐介
-----	-----------	----	------	--------	-------

取組事例名	『久保中学区灯りまつり』
-------	--------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

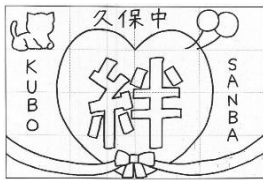
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	1	「課題発見解決能力」	2

取組のねらい

・学区内の生徒・児童・保護者・地域が学校を中心として関わり合える行事を通じて、生徒が積極的に社会参画する機会をつくる。また、その準備の過程で、デザインの作成や実際にグラウンドに下書きをすることで自ら課題を発見し解決するための力を高めることができる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード つながる』
----------	-------------------------

- 1 全校生徒がぼんぼりを作成する。(夏休み課題)
- 2 生徒会執行部がグラウンドのデザインを作成する。
- 3 小学校の児童会へグラウンドへのデザインを依頼する。
- 4 教員と協力してグラウンドへデザインを描く。(下書き)
- 5 保護者と協力して、ぼんぼりを設置する。



- 6 学校評議員を通じて地域へ案内を配布し、広く呼びかけを行う。

『児童とつながる』
学区内の児童会に呼びかけて、グラウンドのデザインを募集する。児童が作成したぼんぼりを使用する。
『保護者とつながる』
保護者にぼんぼり作成を依頼し、生徒と共にぼんぼりを設置する。
『教員とつながる』
決定したデザインをもとに、教員と共にグラウンドで下書きを作成する。
『地域社会とつながる』
灯りまつりの会場を開放して、地域の方々に学校に赴いてもらう。

取組の成果と課題

【生徒アンケート「学校やクラスの行事に参加することは楽しい」の割合】

	1年	2年	3年	変化の様子
7月	90%	83%	85%	全学年で肯定的評価が上がった。
12月	92% ↑	86% ↑	90% ↑	

【成果】

中学校区内の児童生徒や保護者が多く参加し、楽しめる行事となった。また、保護者も生徒とともにぼんぼりを作成することで、生徒と保護者が一緒に作成したぼんぼりを探しながら関わる様子が見られた。成果が目に見える形で分かるため、行事が楽しいと思える生徒が増えるきっかけとなった。

【課題】

当日の準備などは生徒会執行部の生徒に限られ、生徒全体の活動になっていないため、より多くの生徒がぼんぼり作成以外の準備に参加できる工夫が必要。